

平成 24 年度第 7 回政策会議 結果概要

- 1 開催日時：平成 24 年 8 月 20 日（月）9:00～9:35
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり

議題 1 平成 25 年度三重県経営方針について

【大橋企画課長】（資料 1 に基づき説明）

「平成 25 年度三重県経営方針（案）」の策定に向けた秋の政策協議の進め方やスケジュール、協議様式などについて、資料のとおりとしたい。

【石垣副知事】

秋の政策協議は、今後の三重県や平成 25 年度の経営方針をどうしていくのかについて、オール県庁の視点から議論するものである。各部局長は、各部局長の長であると同時に、県庁の取締役のような立場でもあるため、自分の部局以外のことについても、全体の視点から幅広く発言していただきたい。

また、三重県経営戦略会議の委員からさまざまな意見が出ているため、各部局にあっては、十分に参考にしていきたい。

議題 2 第 7 6 回国民体育大会三重県準備委員会について

【辻国体準備課長】（資料 2 に基づき説明）

平成 33 年国体開催に向け、準備委員会の設立総会、事業計画等を定める第 1 回総会及び会場地市町選定などの基本方針を定める常任委員会を 8 月 31 日に四日市都ホテルで開催する。

なお、当日はロンドンオリンピックで優秀な成績を収めた各選手への表彰式を行う。

（質疑なし）

議題 3 県の附属機関における委員の男女構成比等について

【鳥井男女共同参画・NPO課長】（資料 3 に基づき説明）

平成 24 年 4 月 1 日現在、男女のいずれか一方の数が委員総数の十分の四未満とならない附属機関の割合は 61.2%と昨年度から 0.5 ポイント増加した。引き続き男女の委員構成が均衡のとれたものとなるようご協力いただきたい。

【鈴木知事】

登用率を見るとこういうことだが、委員の方を見ると重複が多い。県民力という観点からも、県民の意見を反映できるよう、外部の方も含めてチャレンジな登用をして欲しい。また、専門的な分野で活躍されている女性がいたら県外であっても登用するなど、登用の範囲を広げるよう努めて欲しい。

議題4 平成24年度 県の機関における知的・精神障がい者職場実習について
【西村障がい福祉課長】(資料4に基づき説明)

県全体で3名の知的障がい者の正規職員が採用されており、県職員の障がい者に対する理解の促進を図るためにも、受入所属をはじめご協力をお願いしたい。

【鈴木知事】

人数や選定方法はどのように決めているのか。

【西村障がい福祉課長】

10名を基本としている。面接により、本人の実習に対する姿勢や意志等を、確認している。

【鈴木知事】

実習生はどのように確保しているのか。

【西村障がい福祉課長】

家族の会の協力を得て、実習生を確保している。

【鈴木知事】

実習生が平成22年度から3年連続で減っているので、確保の方法を考えていく必要があるのではないか。また、家族会だけでなく他の団体へも(実習生の確保について)聞く必要があるのではないか。障がい者はどのような仕事ができるのかという民間事業者の疑問に答えるためにも、県庁が率先して受入を行うべき。障がい者(実習生)の受入について全庁的に協力して欲しい。

議題5 知事会等の結果について

【松本戦略企画部副部長】(資料5に基づき説明)

中部圏知事会議、ふるさと知事ネットワーク、島根県知事・岐阜県知事とのバイ会談の結果を報告する。これらの中で提案や合意がなされたことについては、関係部局が連携し対応して欲しい。

【鈴木知事】

ふるさと知事ネットワークには初めて参加したが、人口減少にどう立ち向かうかなど、価値観を共有出来るメンバーで話し合うことが出来、有意義であった。

他府県知事とのバイ会談は新しい取組であり、既存の会議と併せて今後も行っていく。